

編集後記

中南米が原産地であるアマランサスとキノアは健康食として注目されています。このため、今8号では「アマランサスとキノア」を特集として組みました。

我が国では健康ブームに乗り、様々な食品が販売され食されています。

健康食といえば「医食同源」という言葉を思い浮かべます。病気を治す薬と食べ物は本来根源を同じくするものという意味のようですが、バランスの取れた食事をとることで病気を予防し治療しようとする考え方は重要であると思います。

今回特集として取り上げましたアマランサスとキノアについても研究が行われ、食品としての高い栄養価、機能性を保持していることが明らかになってきています。

しかしながら、アマランサスとキノアの国内生産量は、消費量に比べわずかであり、ほとんどが南米等からの輸入に頼っています。

このため、従来より我が国の気候や風土に合う品種の育成、栽培方法の開発等の研究が行われて

きました。

また一方では、作業の機械化や選別等の課題も残されているようです。

今回ご紹介いただきました産地では、地域で関係者が研究会を立ち上げ、産学官が連携して新たな産地づくりや商品開発を行うなどの新たな動きが出ており、注目されます。

また、高校生がキノア栽培に取り組み、地元の企業と連携し商品開発を行うとともに、地域での生産拡大の刺激剤にもなっているという事例も紹介されています。

栄養、機能性に優れているアマランサスとキノアが、今回の紹介事例等を参考にされて関心を持たれ、他地域でも新たな取り組みが現れてこれれば幸いです。

なお、今回号から編集は佐々木が担当いたします。前任の上野同様よろしくお願いいたします。

(佐々木)

発行日 平成22年8月1日
発行 財団法人 日本特産農作物種苗協会
〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目4番1号
白亜ビル 3階
TEL 03-3586-0761
FAX 03-3586-5366
URL <http://www.tokusanshubyo.or.jp>
印刷 (株) 丸井工文社